

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育てサポートどんぐり		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 14日		～ R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	R7年 1月 14日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができています。	連絡帳に日々の活動写真を貼り、日々の様子をより伝わりやすいように努めている。	子どもの状況だけでなく、何気ない話もできる環境に努めています。
2	活動プログラムが固定化されないようにしている。	季節ならではの遊びや、子どもの興味関心に合わせた活動になるよう工夫している。 支援前の打ち合わせ支援終了後にその日行った支援についての振り返りを行い、よりよい支援になるように努めている。	気温や天候もだが、子どもの体力、体調等もふまえて活動内容を検討していきます。
3	定期的に親子行事を取り組んでいる。	親同士の交流になるように内容を考えている。	親や利用児だけではなく、兄弟児など参加したみんなが楽しめる内容の行事を検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが十分とはいえないしバリアフリーではない。	建物の構造上仕方がない部分ではある。	活動内容によっては、法人内の他事業所の場を借りたり公共の場を利用したりと工夫をしていきます。 バリアフリーには早々にできることではないため安全に過ごせるように人的配置をしたり、ヒヤリハットを活用したりしながら、危険要因を減らしていきます。
2	地域との交流や、保育園や幼稚園の子ども達との交流の機会が少ない。	地域の公園にて出会う子ども達と交流する機会はあるが互いの目的、活動があると思うと積極的に関われないことが多い。	幼稚園や保育園と連携を図りながら、交流して遊ぶ日を提案していきます。
3	家族に対してのペアプロ、ペアトレのような研修機会を設けられていない。	ペアトレ、ペアプロの資格を有する職員が少ない	資格取得を目指します。 現状としては、相談等に対して真摯に対応していきます。